

令和4年度 第2回鹿沼市立小中学校教科用図書選定委員会 会議録

- 1 日時 令和4年 7月5日(火) 開会 午後14時30分
閉会 午後15時36分
- 2 場所 鹿沼市民情報センター1F 研修室
- 3 出席委員
- | | | |
|-----|-------|------------------|
| 会長 | 中村 仁 | 鹿沼市教育委員会教育長 |
| 副会長 | 石原 弘人 | 鹿沼市立西中学校長 |
| 委員 | 倉松 俊弘 | 鹿沼市教育委員会教育長職務代理者 |
| 委員 | 中村健一郎 | 鹿沼市立清洲第二小学校長 |
| 委員 | 伊東真由美 | 鹿沼市PTA連絡協議会理事 |
| 委員 | 金子かおり | 鹿沼市PTA連絡協議会理事 |
- 4 その他の出席者
- | | |
|---------------------------|-------|
| 鹿沼市教育委員会事務局学校教育課課長補佐兼指導係長 | 清野 竜一 |
| 〃 学校教育課指導係 指導主事 | 廣田美佳子 |
| 〃 〃 指導主事 | 西村 智之 |
| 鹿沼市総合教育研究所 指導主事 | 高野久美子 |
| 鹿沼市教育委員会事務局学校教育課指導係 指導主事 | 大門千恵子 |

5 議事 <司会：事務局 清野>

(1) 開会 <事務局：清野>

- ・本会は、鹿沼市立小中学校教科用図書選定委員会会則第3条により組織され、第5条により開会する。
- ・なお、本会会則第7条規定により、本会議は傍聴することができるが、本日傍聴者はいない。

(2) 選定委員長あいさつ <中村会長>

- ・5月中旬から6月下旬にかけて、教科調査委員に検討をしていただいた。
- ・本会議の会議録は、採択後に市のHPに掲載をするが、個人名は非公開とするため、率直な御意見をいただきたい。調査員の氏名についても非公開とする。
- ・本市教育委員会にて承認を受ける予定である。それまで情報の取り扱いについて御留意いただきたい。

(3) 選定委員会委員及び事務局の紹介

- ・委員紹介 及び 出席者自己紹介は、割愛する。
- ・今回、出席者が過半数を超えているため、本選定委員会は成立とする。

(4) 日程及び資料についての説明 <事務局：廣田>

(5) 協議 <司会：中村会長>

①会議録承認

- ・口頭説明 <事務局：廣田>

協議事項として、採択の基本方針、調査員の承認、予算、主な日程等についての協議を行った。
承認の場合、本会終了後に中村委員、伊東委員に署名いただく。

- ・質疑なし

・全委員により承認

②会議録署名人の指名について <中村会長>

・第2回会議録署名人は、会則第6条第2項により、倉松委員、石原委員にお願いしたい。

③-1 調査研究の経過について <事務局：廣田>

- ・採択の基本方針に従い、調査員会を3回開催し、4名の調査員が調査研究を行ってきた。
- ・このあと、代表者から説明をさせていただく。

③-2 答申

小学校 特別支援

調査員主任より調査研究をもとに、小学校特別支援学級用附則第9条図書の調査研究結果について報告された。新しい教科書として3冊取り入れた。

【質疑】

(委員) 3冊目の他教科との関連を具体的に説明してほしい。

(主任) 物語が短く、国語の読み取りの練習としても活用できること、生活との関わりで社会や理科とも関連が図れる内容である。

中学校 特別支援

調査員主任より調査研究をもとに、中学校特別支援学級用附則第9条図書の調査研究結果について報告された。新しい教科書として4冊取り入れた。

【質疑】

(委員) 一人一人の生活経験とは具体的にどのような場面を想定しているか。

(主任) 海外の経験は少ないが、国内旅行や身近な地域での生活経験を思い出し、その場面を思い浮かべることができるのではないかと考えた。

(委員) 学校でコミュニケーションが上手に取れない、感情のコントロールが苦手な子など、指導現場でも必要な視点と感じたが、そのような観点で選定を行ったか。

(主任) 現場での解決の糸口という思いがある。

(委員) 糸口としての活用の視点が大切。教科書通りではなく、状況に応じて解決策を考える糸口として活用してほしい。

(委員) シリーズとなっている図書の中で、この2冊を選んだ理由は何か。

(主任) 自分のことが中心で、相手のことを考えられない場面を想定。また、学校生活と特に関わりの深い2冊を選定した。

④協議 <中村会長>

・ただ今の答申を受けて、委員の皆様の御意見を伺いたい。まずは、小学校特別支援学級用附則第9条図書についてどうか。

(委員) 新たな3冊についての答申を受けたが、除かれた図書はあるか。あるとすればその分を今回追加した形か。

(事務局) 9冊が絶版等となったため除外となった。新たな3冊については教科のバランスを見て選定した。

(委員) 採用した教科書の使用年数について規定はあるか。

(事務局) 確認の上後日回答する。

(委員) 分厚い教科書がいくつかある。持ち帰ることはできるのか。

(事務局) 基本的にはロッカーなどに保管し活用している。

(委員) 日常生活と結びついた内容の図書でふさわしいと考える。

・次に、中学校特別支援学級用附則第9条図書についてはどうか。

(委員) 地図は世界の食べ物についてスポットの当て方がよく生徒の興味関心を引くものとなっている。

(委員) DVDが入った教科書についてはどのように活用しているか。

(事務局) 個に応じた指導が中心となり、ニーズに応じて活用している。

⑤選定 <中村会長>

調査員の答申通り、選定を行ってよいか。

・異議なし

⑥その他

・(事務局) 7月21日に、教育委員会で採択決定となる。その後、市内小中学校および県教育委員会へ報告をする。教育委員会での決定後に情報を公開するまで非公開扱いとなる。業者等に質問があったら事務局へ。

(6) 閉会

以上をもって、午後15時36分に閉会した。

この会議の次第は、書記(西村 智之、大門千恵子)の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためにここに署名する。

会議録署名人

倉松 俊弘

石原 弘人